

わごころ通信

発行日：令和3年3月1日
発行元：尾鷲市社会福祉協議会
尾鷲市栄町5-5 TEL.22-3246
HP：<http://www.owasewel.com>
E-mail：info@owasewel.com

「わごころ通信」では、みんなが住みやすい助け合えるまちづくりを目指し、住民同士の支え合い活動が広まっていくように、尾鷲で活動している方の情報発信をしています。第4号では、地域のみなさんが助け合いのしくみについて話し合われている様子や三木里町、九鬼町で活躍されているボランティア団体の活動をご紹介します。

わごころ会議をしています！

わごころ会議とは？

わごころ会議は、いつまでも尾鷲で安心して生活していくためにどのような助け合いのしくみがあれば良いか、どのような助け合いのしくみをつくるのかを地域の方々と一緒に考える話し合いの場です。さまざまな理由によって発生する生活の困りごとを、どうすれば地域の力で解決することができるのかみんなで案を出し合いながら考えています！



助け合いで解決できそうなことを話し合いました！

人と話できる場所がほしいなあ！みんなが集まれる+ロンを社協と一緒に作るのはどう？

車がない人は買い物に困るとるなあ。自分の買い物ついでにやったら買ってこれるかな！



重い物を持ってない、移動手段がないなどの理由により、ゴミ出しや買い物に困っているという話をよく聴きます。そのような生活の困りごとを、どうすれば自分たちで解決できるかみんなで意見を出し合いながら考えています。生活支援のしくみをつくることは簡単なことではないですが、これからもわごころ会議で話し合いを重ねながら、地域の方々と一緒に助け合いのしくみをつくっていきたいと考えています。

わがらのまちの支え合い活動紹介

三木里地区福祉委員会

三木里地区福祉委員会は平成9年11月に結成し、困った時に助け合える関係づくりを目指し、訪問を通して見守り活動を行っています。三木里地区の高齢者を対象に年3回訪問しており、1件ずつ声をかけながら生活にお変わりがないか確認しています。一人暮らしの高齢者が増えてきているので、何かあった時に助け合えるよう日頃からつながりづくりを行っています。

委員のみんなが協力しながら見守り活動をしています！



会長の
世古 譲治さん



腕章をつけて見守り活動！

見守り活動
実施中
地区福祉委員会

こんなエピソードが・・・

お弁当を届けるあったかふれあい訪問の時、なかなか会えない一人暮らしの認知症の方がいました。心配になり、活動後の反省会で話し合った結果、民生委員から地域包括支援センターに相談することになりました。そのあと少し時間がかかりましたが、家族とも連絡が取れ、介護支援を受けることにつながったと聞き安心しました。

九鬼生活支援ネットワーク

個人的な好意で通院や買い物の送り迎えをしている方たちが集まって、「今後のためにもっと助け合いがしやすいしくみを」と任意団体をつくり、みんなが助け合いに参加しやすいよう、送迎支援とゴミ出し支援のルールを決めて活動しています。やっていく中でいろんな課題がありますが、みんなに共通する課題のため、ひとつひとつ相談しながら活動しています。

～支援メニュー～

買い物や通院の送迎
ゴミ出しのお手伝い（週1回）



今年度のふりかえり

今年度は新型コロナウイルス感染症が拡大する中、さまざまな支え合い活動が自粛を余儀なくされ、悔しい思いをたくさん聞きました。また地域で活動するボランティアの皆さんも、感染症対策と新たな活動のかたちを模索され、コロナ下で行われる見守りやふれあいサロン、生活支援活動の様子を伺う中で、改めて今まで築いてきた地域の“つながり”の大切さを実感する1年でした。

また、これからの支え合いを話し合う「わごころ会議」をはじめ、生活支援に関するさまざまな協議の場を設け、地域の方々のいろんな思いを聞きながら、買い物やゴミ出しについても、今後の活動のきっかけづくりをすることができました。今後も地域の方々とともに支え合いの思いを形にしていくために、たくさん地域にのりこみし、皆さんの声を大切にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



生活支援コーディネーター

・・・わごころ通信に関するお問合せは・・・

担当：尾鷲市社会福祉協議会 地域福祉課 総務・福祉係 Tel.22-3246 まで